

石川県立白山青年の家及び石川県立白山ろく少年自然の家の 平成21年度管理状況

施設所管課	教育委員会事務局生涯学習課
指定管理者	財団法人白山市地域振興公社 代表者 理事長 永井 隆一
指定期間	平成20年4月1日～平成23年3月31日

(1) 管理業務の実施状況

業務内容 (協定・条例に規定)	具体的な業務(仕様書、事業計画)の実施状況 (不十分な場合、その理由、指摘事項を記入)
利用の促進に関する業務	施設の使用受付、案内等の接遇向上 ・職員接遇研修会 職員の資質向上 ・石川県青少年教育施設協議会資質向上研修会 利用者の苦情・意見の把握・対応 ・利用者アンケートの実施 その他特記事項 ・体験活動プログラムの充実 ・HPの内容の充実 ・公社所有施設との連携
施設、設備及び備品の維持管理及び修繕に関する業務	施設管理、消防設備管理、電気工作物管理、危険物貯蔵施設点検、浴室等管理、昇降機管理、構内管理、衛生管理、清掃管理、廃棄物収集運搬、その他設備保守
使用の承認に関する業務	使用承認、使用承認の取り消し及び使用の制限((2)②参照)
使用料の徴収に関する業務	使用料の徴収、納入 ・使用料の収入実績((3)参照)
(その他、施設の管理に関し、知事が必要と認める業務)	緊急時の対応・安全管理などの危機管理 ・緊急時の職員連絡体制・配置体制、対応計画の作成 個人情報の管理 ・職員全員に周知し、適正に管理

(2) 施設の利用状況

①利用指標((設定している場合)利用人数、稼働率などの数値目標)

指標	H20年度 (参考)	H21年度	前年度比	増減理由
白山青年の家 総利用者数(人)	20,872	22,036	106%	宿泊数の多い団体が増。
白山ろく少年自然の家 総利用者数(人)	16,051	16,111	100.4%	夏季利用者が増加し、インフルエンザ等の影響で冬季利用者は減少

②使用許可等の状況

	承認件数
白山青年の家	252
白山ろく少年自然の家	158

※使用承認の取り消し及び使用の制限はなし。

(3) 使用料の収入実績

利用料金の収入及び減免の状況

		収入額	減免額	減免理由
年 白 の 山 家 青	宿泊料	5,368 千円		
	食事料	14,655 千円		
	冷暖房料	746 千円		
年 白 自 山 然 ろ の く 家 少	食事料	12,358 千円		
	寝具料	1,399 千円		
	暖房料	242 千円		
	スキー用具料	389 千円		

(4) 収支決算

(千円)

収入			支出		
白 山 青 年 の 家	管理料	37,407	白 山 青 年 の 家	人件費	30,708
	利用料収入	20,769		光熱水費	6,826
	その他	4,227		修繕費	562
				設備保守	2,272
				食材費	9,702
				その他(消耗品、消費税等)	10,703
	小計	62,403		小計	60,773
白 山 ろ く 少 年 自 然 の 家	管理料	30,096	白 山 ろ く 少 年 自 然 の 家	人件費	19,621
	利用料収入	14,388		光熱水費	3,525
	その他	2,594		修繕費	344
				設備保守	1,313
				食材費	8,167
				その他(消耗品、消費税等)	12,291
	小計	47,078		小計	45,261
合計	109,481	合計	106,034		
収支差額	3,447				

※2施設あわせて指定している。(管理料も合算して支払っている。)

(5) その他、県が必要と認める事項（管理の実態を把握するために必要な事項）

①利用者の意見等

(ア) 利用者アンケート結果（通年実施 有効回答数 白山青年の家 157 件・白山ろく少年自然の家 69 件）

	項目	回答				
		良い	概ね良い	普通	やや悪い	悪い
白山青年の家	利用者サービス	61.8%	37.6%	-	0%	0.6%
	施設の維持管理	73.6%	25.8%	-	0%	0.6%
白山ろく少年自然の家	利用者サービス	62.1%	37.9%		0%	0%
	施設の維持管理	36.2%	59.4%		4.4%	0%

(イ) 利用者からの意見、苦情、要望

年月	内容	対応
平成21年	使いやすく、臨機応変に対応してもらえてよかった。（白青）	
	丁寧で良い距離感の指導がよい。（白山ろく）	
	建物が老朽化している割には清掃ができています。（白山ろく）	

②事故、故障等

年月	内容	対応
平成21年5月	草刈り機故障（白山ろく）	修理
平成21年8月	灯油地下タンク油面計故障（白青）	修理
平成21年8月	照明コントロール盤リモコン回路故障（白青）	修理
平成22年2月	厨房温水配管故障	修理

③その他報告事項など

特になし

(6) 評価結果

評価項目	結果	所見（工夫、改善点）
①サービスの維持・向上や利用促進に向けた取り組みが行われているか。	B	・利用者アンケート調査を行い、利用者の声を運営に活かすよう努めている。 ・体験活動プログラムの充実、HPの充実など利用促進に努めている。
61.8②施設、設備及び備品の維持管理及び修繕が適切に行われているか。	B	・施設の修繕等に適切に対応している。 ・施設内は清潔に保たれており、仕様書等に基づき適切な管理がなされている。

③適切に管理運営・危機管理を行う組織・体制となっているか。	B	・適切な職員の配置がなされている。 ・緊急時の対応計画や連絡体制等が定められ、安全対策が適切である。
④その他、必要と認める事項	B	・個人情報保護や宿直業務など、仕様書等に基づき適切な管理運営がなされている。
総合評価	B	・仕様書等に基づき適切な管理運営がなされている。

○評価基準

- A（優）：仕様書等に定める水準を上回っている
- B（良）：仕様書等に定める水準を十分に実施している
- C（可）：仕様書等に定める水準を概ね実施しているが、一部改善を期待する部分がある
- D（不可）：仕様書等に定める水準を下回っている

○総合評価

- A（優）：適正であり、優れた実績をあげている
- B（良）：適正である
- C（可）：概ね適正であるが、一部改善を期待する
- D（不可）：改善が必要である

（7）助言・指摘事項

民間ノウハウを活用し、利用促進に向けた更なる取組を期待する。